



札幌駅 5152 再開発 工事仮囲い ART PROJECT

スポンサー(協賛) 募集企画書

主催・制作ディレクション

後援

SAPPORO

Mural Art

巨大な壁画で 札幌駅エリアに 新たなシンボルを。

大きなミューラル(壁画)は、空間の印象を大きく変え、
人々、時間とともに共有できる象徴的な存在に。
1つの絵のもとに、それぞれの思いで集い、楽しめる場所。



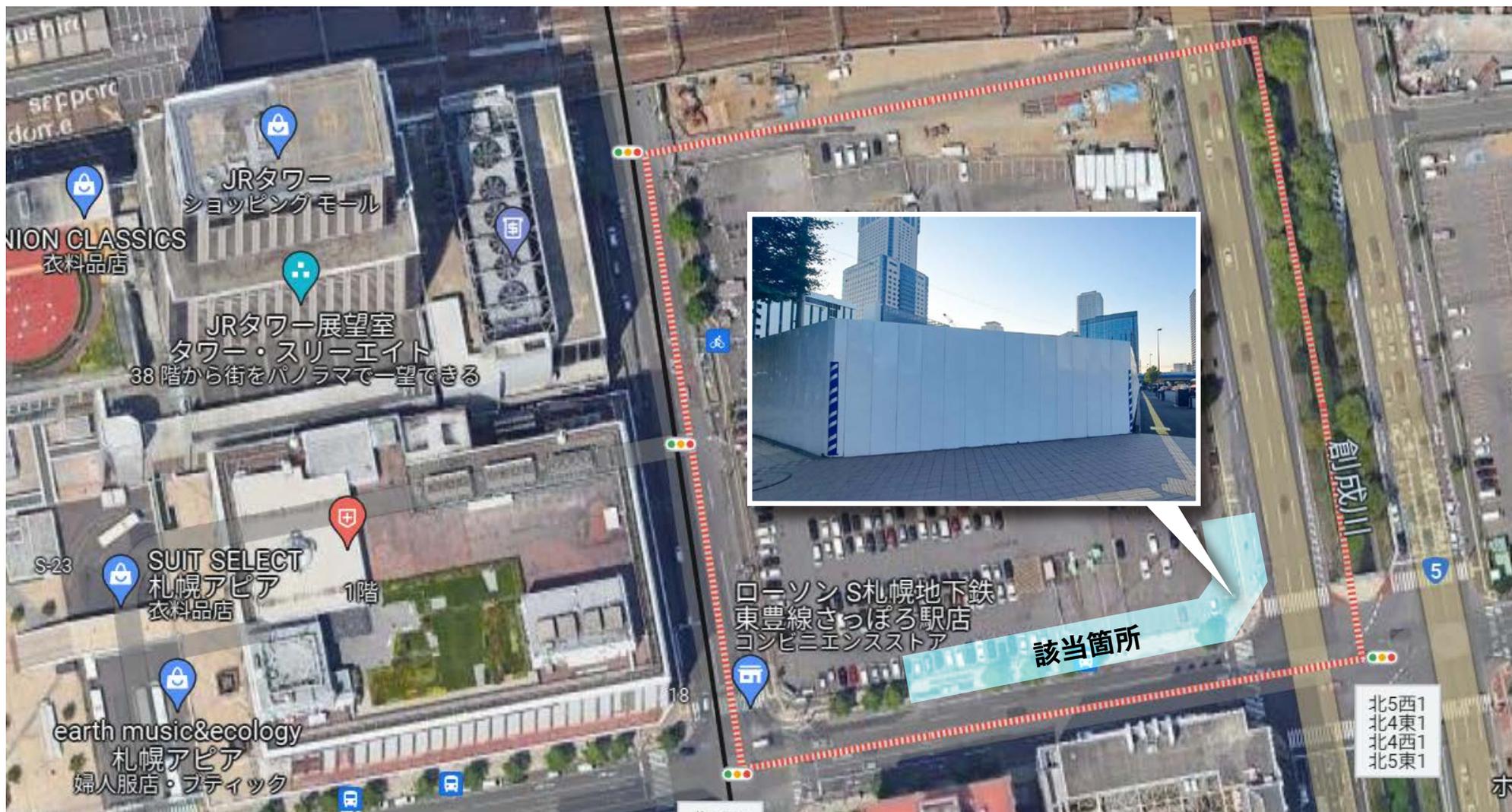
札幌の未来をアートで繋ぐ。

国内外で活躍する複数人の壁画アーティストが

札幌駅南口（北5条西2・西1丁目）再開発エリア

約**100m**の仮囲いに**日本最大級の壁画**を描きます。





札幌駅南口（北5条西2・西1丁目）再開発エリア
地図データ ©2024 Google

ミューラルで 街や人々の心を ポジティブに。

ますますの再開発が進む札幌市。

特に札幌駅エリアは、新幹線開通を見据え、多くの大規模な再開発が行われています。

しかし、新しい街の誕生を楽しみにするなかで不安も生まれました。

「街が出来上がるまで、無機質な壁に囲まれているよう」

「駅周辺から、人々の影が消え始めている」

「何か、魅力ある空間を創造できないか」

一方、北海道の様々なエリアでは、少しずつ壁画アートを活用した町おこしが進んでいます。

様々な方々と話をする中で、大きな壁画アートは人々に元気や笑顔をもたらすと再認識しました。

無機質に感じていた仮囲いも、

**無機質に感じていた仮囲いも、
アートの力なら街を明るくすることができる。**

札幌の再開発のプロセスを

アートでワクワクするものにするため、本企画を実施します。

今後の展望

北海道には広大な土地があり、またインバウンドの来訪もある日本でも有数の場所です。そこに諸外国ではトレンド化している大きなミューラル（壁画）アートがカルチャーとして未だ根付いていないことはチャンスなのではと考えています。

今回の企画を皮切りに、全国からアーティストが“集まりやすい”、“アート活動を北海道で行っていきたい”そう思えるような環境を作りたいと思っています。そして全国各地のアーティストと道内在住のアーティストや子どもたちが交わることで、北海道の文化観光資源としての醸成を目指します。

今回の制作エリアは非常に公共性が高い場所です。

日本や海外に発信できるミューラルを制作し、札幌駅南口エリアから北海道をミューラルで盛り上げていきます。

今回の企画はそのスタート地点となります。



**ミューラルを
北海道の文化観光資源の
ひとつとして成熟させていく。**



SAPPORO

Mural Art

企画概要

制作した壁画とスポンサーサインは 約1年半存在します

■実施概要

国内外で活躍する壁画アーティスト4名(予定)が
工事仮囲いに巨大な壁画アートを描く

■制作箇所

北5条西1の旧エスタ横の仮囲い(全長約93.2m)

- ・南面の仮設バス停上屋東側から端まで(W約75.7m)
- ・東面と南面を繋ぐ角面(W約7.8m)
- ・東面の一部(W約9.7m)

※西面と南面をつなぐ角面は企画・スポンサーサインを設置

■参加アーティスト

後述

■会期

2024年9月4日(水)～9月24日(火)

■掲出期間

2026年春頃まで

- ※企画・スポンサーサインも同期間となります
- ※工事の状況に応じて前後する可能性があります

■制作テーマ

札幌市と協議の上決定(大枠のテーマを設けて制作)

札幌駅南口地区の景観形成方針に沿って制作

制作箇所



南面の仮設バス停上屋東側から端まで (W 約 75.7m)



東面と南面を繋ぐ角面 (W 約 7.8m)



東面の一部 (W 約 9.7m)



企画・スポンサーサインを設置箇所

札幌から日本や世界に届く ミューラルカルチャーを上げるために

- 札幌駅横という市内でも**有数のパーソナルスペース**という背景、また100m以上と**日本最大級のサイズ**を国内のプロフェッショナルアーティストが長期間におよび制作するため、アーティスト費を含むプロジェクト費用が多大にかかります。費用を抑えて安易なプロジェクトにはしたくありません。**本気で札幌から世界に発信できるミューラルを描くため**にスポンサーを募ることとしました。
- 多くの人を通る場所であり、公開制作という性質上、人流滞留などによる事故を防ぐため警備員や運営スタッフを要所にしっかりと配置し、**安全安心な環境で企画をやり遂げる**ための人件費用をかけたいと考えています。
- 後世に残していけるよう、プロのカメラマン・ビデオグラファーによる記録制作物を残します。
- 今後も継続的に札幌駅エリアや札幌市、また全道と考えた際の、**継続的に一緒に活動をしていただけるパートナー**を探します。

本企画は様々な形で 企画をPRします



■アーティストユニフォーム

アーティストがペイント時に着用するユニフォームに
企画・スポンサー企業のロゴをプリントします

■特設 HP の制作

実施内容、アーティスト紹介、企画目的、
協賛スポンサーの紹介などを行うページを作ります。
企画に関しての情報がここに集約されており、
掲載期間に多くの PV 数が見込めるサイトとなります。
※配布物や、サインには HP の QR を掲載。

■動画制作

ブランディング (制作風景) 動画を制作。
ドキュメンタリー動画を制作。

■配布物

企画を紹介する配布物を作成し
現場近くで配布を想定

■各種メディア

パブリックな場所で大々的に行うため、
各種メディア掲載・出演を想定しています。

PR について

企画・スポンサー表記サイン掲示

南面向かって右端を想定し

約2.5m×2.5m(仮)のサインを掲示。

※サイズは異なる可能性があります

※南面と西面を繋ぐ角面に掲載

※サインは同壁面、別場所へ移動する可能性があります



企画・スポンサーサイン (イメージ)

SAPPORO

Mural Art

札幌駅アートプロジェクト

2024
9.4 ~ 9.24
公開制作

「札幌のみらいを描く」

まちの未来に向け、再開発が行われています。
その過程を壁画アートを通じてワクワクするモノにする
この仮囲いはその一歩目です。
未来にも「今」にもワクワクを届けるプロジェクトです。

Artists

Sponsors of this project

企業ロゴ

企業ロゴ

企業ロゴ

企業ロゴ

企業ロゴ

企業ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

ロゴ

主催・制作ディレクション



JAPAN AX PROJECT 株式会社

後援



札幌市
City of Sapporo

札幌駅交流拠点
北5西1・西2地区
市街地再開発組合

スポンサー募集内容

以下のプランよりお選びください。

項目	内容	オフィシャル	メイン	エール	サポーター
オプション	会期中の連動企画	応相談	応相談		
ユニフォーム	ユニフォームロゴ掲載	サイズ大	サイズ中	サイズ小	
サイン	ロゴ掲載	サイズ大	サイズ中	サイズ小	
	社名掲載				●
特設サイト	バナー掲載（会社説明文章）	●	●		
	ロゴ掲載	●	●	●	●
	社名掲載	●	●	●	
公式サポーター関連	バナー画像提供	●	●		
公式動画 スチール	ロゴ掲載	●	●		
	社名掲載	●	●	●	
	動画利用権利（データ付与込み）	●	●	●	●
	スチール利用権利（データ付与込み）	●	●	●	●
	ドキュメンタリー動画への出演	●	▲		
プレスリリース	コメント掲載	●			
	ロゴ掲載	●	●		
	社名掲載	●	●	●	
その他	ニュース投稿などに使う他素材提供	●	●	●	●
	会期中の企業商材の利用	応相談	応相談	応相談	応相談

※ 他、以下の特典がございます。

・ 次回企画時の優先ご案内 ・ ミューラル制作料金 20%OFF

※ オフィス、施設店舗など制作場所は問いません。※1制作、制作サイズ 20㎡以上に限ります。

会期中の連動企画については、別施設で同時期に壁画制作やアートイベントを行い
相互集客につなげる企画などを想定、実施には別途アーティスト原価分の費用が発生します。

上限 3 社

オフィシャルスポンサー

200万円(税別)

上限 4 社

メインスポンサー

100万円(税別)

上限 7 社

エールスポンサー

50万円(税別)

無制限

サポーター

20万円(税別)

その他、宿泊施設のスポンサーも募集しております

諸注意

■制作に関して

- ・ 3週間全日が制作日ではなく、うちの14日間を目安に制作します。
- ・ 屋外制作のため雨天時には制作ができません。天候によりスケジュールが変更になる可能性があります。

■スポンサーについて

- ・ 予定の金額が集まらなかった場合、企画を中止もしくは規模を縮小する可能性があります。
- ・ 本企画と併せたイベントや企画を自社で行っていただくことも可能です。事前にご連絡をお願いいたします。

SAPPORO
Mural Art

Artists

Artist_

Kensuke Takahashi

横浜出身在住のペインター / 壁画家

確かな描写力・緻密なテクニック・現実を飛び越える自由な発想力で、あえて画風を決めずに描くスタイルで壁画や飲食店舗内壁面アート、企業や行政へのアートワーク提供やライブペインティングイベント出演等活動の幅を多岐に広げている。近年では、大型の壁画制作として JR 横浜駅エキナカ・横浜吉田町・横須賀・町田・Pow!Wow!Japan 神戸・マカオ等や、アートワーク提供として神奈川県啓発事業・横浜開港祭、横浜ワールドポーターズを手がける。

<https://www.instagram.com/kensuketakahashi1977.art/>



Artist_

KAREZMAD

KAREZMAD はスケートボード、グラフィティ、ストリートカルチャーをバックボーンに持ち制作活動を行う ARTIST。2004 年にロックウェルプロダクトショップをパートナーと共に設立。ウェアブランド NUJABES 主催 "TRIBE" や、DOBERMAN inc. 主催 "DMN"、2009 年より "AKAONI" などのグラフィックデザインを担当。

2007年、2009年ローマで行われた GRA によるエキシビジョンに、2010年、2011年アメリカ LA の The Conference RoomGallery でのグループ展に参加しました。

2016~2018年ニューヨーク、横浜、名古屋、大阪にて個展。現在、彼はインスタグラムや SNS の世界をテーマに制作しています。世界のファッションista、インスタグラマーにコンタクトして彼らをテーマに作品を作っています。最近では AR（拡張現実）での作品制作に取り組んでいて 2021年には AR を使用した著名アーティストやウェアブランドとのコラボ作品や展示企画が予定されています。



<https://www.instagram.com/karezmاد>

Artist_

WAIF ONE

Painter

1986年12月生まれ、福島県出身。

2010年より都内を中心に活動を開始。

主に曲線を用いた柄を描き、これらはスケートボードやスノーボードから感じられる "流れ"、その合間に吸う煙草から立ち昇る "煙"、日々目に映る "植物" をイメージしている。また、"和" を "輪" ・ "縁" を "円" と捉え、円形のオブジェクトを良く用いる。

<https://www.instagram.com/waifone/>



Artist_

Yusei

1986 年生まれ、福島県福島市出身。神奈川県・東京都を中心に活動。10 代後半にストリートアートに影響を受け表現の道を進む。フリースタイルを重視したライブペインティングやミューラルを得意とし、自然と都会的なイメージを融合したアブストラクtnaスタイルで描く。

2024 年には川崎市、クロアチア リエカ市との友好プロジェクトにてクロアチア最大級のミューラルを完成させる。

また、アート集団「輪派絵師団」のメンバーとしての活動では東京 2020 オリンピックオフィシャルアートワークや数々の企業広告を手がける。

近年ではアートメディア「BEHIND THE WALL」を主宰。国内外のアーティストを 50 組以上招聘したミューラルプロジェクトを成功させるなど、壁画中心の企画制作を担う。

https://www.instagram.com/yusei_sagawa/





About



JAPAN AX PROJECT



About



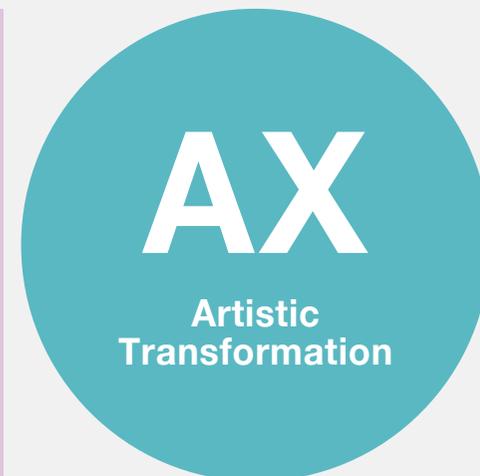
DXの対となる“AX”

デジタルなものが人々の人生を便利にし、豊かにしていることは認識の通りです。

しかし、デジタルデトックスという言葉が生まれたことが現すように、デジタルだけが人生を豊かにするわけでは無いと思っています。

音楽や絵など人の感性に寄り添ったものも人生を豊かにしているのではないのでしょうか。

デジタルと共存するアナログなもの、AX（アーティストック・トランスフォーメーション）を日常に普及させ人々の感性を揺さぶり、日本を元気にします。



「地域活性 × ミュールル(壁画)」を通じて、 北海道を中心に全国様々な地域で活動をしています。

遊休不動産 × ミュールル



空間ごとアートに変えてしまうミュールルは、遊休物件に新たな可能性を生み出します。地域のランドマークとして、公共性や文化交流の場所と機会を作ります。

JR 北海道廃線跡地利活用

ミュールルアートを活用した賑わいの創出



- ミュールルと呼ばれる壁画アートを用いて廃線跡地という「場所」の新しい価値を創出します。
- ミュールルは「描くところを見る」「一緒に描ける」「大きな空間を作る」という特徴があり、今回の取り組みではアートを体験できる原体験を提供します。
- そして、アート単体ではなく、他の企画や事業とミュールルを

社名	JAPAN AX PROJECT株式会社
代表者名	代表取締役社長 山田真史
事業概要	ミュールル(壁画)アート事業制作/アート企画コンサル業
会社HP	https://www.axp0.com/
掲載内容	ミュールルアートを活用し、人が集う場所の創出、実地調査の効率的なアート実施を支援するサービス提供

2023年4月、JR北海道が日高線などを活用し新しい事業を開始するプログラムに採択されています。廃線跡地の賑わいを創出するために様々な事業 × ミュールルを検討・企画中。

アートを体験・体感できるイベント『North Art Garage』
北海道の様々なエリアでアートを体験する機会を提供しています。

ライブペイント

参加型アートワークショップ

壁画制作

2023年5月

@ 江別市蔦屋書店



Event
Movie ▶



2023年10月

@ 総合アウトドア施設 芸森ワーサム



Event
Movie ▶



2024年3月

@ 千歳市空港100周年記念



Event
Movie ▶



ミューラル / ライブペイントは現代のアート体験

ミューラルの特徴

出来上がりまでを観れる
一緒に描くことができる
壮大な空間を創り上げられる



ライブペイントの特徴

普段体験することができない
過程をみることで作品への理解が深まる
SNSシェアしやすい(したくなる)



日本でもここ2~3年くらいで急激にトレンド化しているミューラル

壁主に許可をとって巨大な壁画を描くことをミューラルといいます。

SDGsに配慮した取組み



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

廃棄塗料をアップサイクルし活用しています

建築塗装では廃棄となってしまいう塗料が存在します。

ニッペホームプロダクツ株式会社（日本ペイント）の協力のもと
廃棄となる塗料をアップサイクルしアーティストに提供することで
アーティスト支援とSDGsに配慮した活動をしています。

本企画でも積極的にアップサイクル塗料を活用します

Thank You

最後までお読みいただきありがとうございます。
ミューラル（壁画）アートを通じて、一緒に人々に感動と笑顔届けたい。
ご協力よろしく願いいたします。

本企画書のお問合せ先

JAPAN AX PROJECT 株式会社

info@axpjt.com